

第1回 5月12日(土) 10:40～12:10

定員30名

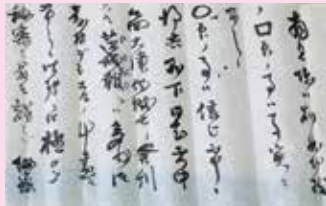
## 史料解読の世界へのいざない - 昭和女子大学 OG の家から発見された犬養毅書簡を読み解く -

講師 ● 歴史文化学科 准教授 松田 忍

時を超えて残されたことばには、かつて生きて誰かが切実に何かを訴えたいと考えた気持ちが刻印されています。その想いを現代によみがえらせる力をもつ学問が歴史学です。本講座では、本学卒業生がお祖父様の遺品から発見した犬養毅の手紙を題材にとって、史料解読の具体的な手法を体験します。切手、宛先、墨の色などの多くの痕跡にも目を配りながら、明治政治史の転換点に熱く生きた人びとの想いに迫りましょう。歴史を学ぶことは人生の楽しみでもあります。この講座で、史料を通じた歴史との向き合い方を少し学んでみませんか？

講師プロフィール まつだ しのぶ

東京大学文学部歴史文化学科卒業。同大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻博士課程修了。博士(文学)。専門分野は日本近現代史。現在の研究対象は1930年代から1950年代の生活運動について。ライフワークとして歴史史料の整理・公開に精力的に取り組んでいる。著書に『系統農会と近代日本—1900～1943年』(勁草書房、2012年)など。



第3回 6月30日(土) 10:40～12:10

定員40名

## 乳幼児心理学 - 赤ちゃんの成長の不思議 -

講師 ● 心理学科 教授 松澤 正子

赤ちゃんは生まれてわずか数年の間に、その後の人生に必要な様々な能力を身につけます。乳幼児心理学の研究から、赤ちゃんといえども外の世界の出来事を知り見聞きし、必要な力を自分で獲得していくことがわかってきました。赤ちゃんがそもそもどのような力をもって生まれてくるのか、また必要な力をどのように身につけていくのか、乳幼児心理学の研究の一端をご紹介します。ふだん赤ちゃんに関わる機会が多い方や子育て中の方はもちろん、そうでない方も、と一緒に赤ちゃんの成長の不思議について考えましょう。

講師プロフィール まつざわ まさこ

博士(文学)。専門は発達心理学。人間のもつ複雑な精神機能はどのように生まれ育つのかに関心を持ち、乳幼児の精神発達について研究している。大学では乳幼児心理学などの授業を担当し、発達初期の子どもの成長の不思議について考えることで、心理学的な人間理解の基盤をつくることを目指している。



第2回 5月26日(土) 10:40～12:10

定員50名

## 情緒のデザイン - これからの学び方を学ぶためのデザインワークショップ -

講師 ● 環境デザイン学科 専任講師 石井 大介

社会やそこに生きる人々の働き方や物事との関係性が大きく変わる今、教育においても学び方が大きく変わろうとしています。

このプログラムでは、「ものをつくる」ためのデザインとしてだけでなく、本来、「社会を前に進める」ために役割を担ってきたデザインの本質や可能性をお話しながら、これからの時代に必要な学び、そしてデザインの手法や作法を、市民の皆さんと対話を通して考えていきます。

講師プロフィール いしい だいすけ

国内の大学を卒業後、アパレルブランドの立ち上げに参加。その後渡米し、Parsons The New School for Designにてデザインを学ぶ。ニューヨークの制作会社に勤務後帰国し、現在までに教育機関の開発業務やアパレル・インテリア企業のデザイン・コンサルティングなどに携わる。昭和女子大学生活科学部環境デザイン学科常勤講師。



第4回 7月21日(土) 10:40～12:10

定員50名

## 住みたい街ポートランド - 都市空間の魅力を探る -

講師 ● 現代教養学科 准教授 鶴田 佳子

コンパクトで環境に優しい街ポートランド(オレゴン州)は、訪れたい、そして暮らしたくなる、魅力ある空間が随所にみられます。桜並木のある川沿いの公園では多様なイベントが開催され、広場は街のリビングとして人々が寛ぐだけでなく、時にはコンサートや野外映画の会場にもなります。また、公園や駐車場を活用してファーマーズマーケットが定期的開催され、商店街ではストリートフェア等が繰り広げられます。賑わいの場となる街路、広場、公園、水辺空間などパブリックスペースに着目し、その魅力を探ります。

講師プロフィール つるた よしこ

イスタンブールをはじめとするトルコ諸都市を中心に広場や市場など人の集まる空間について調査・研究を行っている。2017年春・夏にアメリカ西海岸ポートランドを拠点に比較調査を実施。東京、世田谷では、世田谷パン祭りをはじめ、地域活性化にもゼミ生と取り組み中。専門は都市計画、都市社会学。



- 受講料：無料
- 会場：昭和女子大学内教室（当日守衛室でご案内します）
- 申込方法：E-mail または ホームページから
- ① 受講希望日 ② 氏名 ③ 連絡先 ④ 性別 ⑤ 年代をお知らせください。
- 申込先：昭和女子大学昭和不リエゾンセンター
- 申込開始：4月2日から
- E-mail ▶ [openseminar@swu.ac.jp](mailto:openseminar@swu.ac.jp)
- HP ▶ [http://univ.swu.ac.jp/community\\_relations/](http://univ.swu.ac.jp/community_relations/)

※受講の可否についてこちらから連絡させていただきます。申込後1週間を過ぎても連絡がない場合は、恐れ入りますが再度お問い合わせください。



第5回 10月27日(土) 10:40～12:10

定員50名

## タイ北部山岳少数民族アカ族の暮らしにみる生活様式と生活文化

講師●現代教養学科 准教授 粕谷 美砂子

タイ北部山岳地帯にはアカ族、カレン族、モン族、ヤオ族、ラフ族、リス族など多数の少数民族が暮らしています。この講座では、2013年から継続的にタイ北部チェンライの山岳少数民族アカ族の女性への食品加工技術支援に関わってきた経験をもとに、戦後日本の生活改善普及事業の展開方法を活用した本支援プロセスと課題、日本の農業の6次産業化との類似点・相違点、山岳少数民族の持続可能な生活経営および情報アクセスの方法と手段、困難性等について取り上げます。写真を通して、これらの課題をタイ北部山岳少数民族アカ族の暮らしにみる生活様式と生活文化から考えていきましょう。



講師プロフィール かすや みさこ

昭和女子大学家政学部生活科学科卒業後、本学大学院生活機構研究科修士課程、博士後期課程修了、博士(学術)を取得。独立行政法人日本学術振興会特別研究員(PD)、本学短期大学部専任講師、神奈川県立保健福祉大学、関東学院大学非常勤講師等を経て、現在、昭和女子学人間社会学部・大学院生活機構研究科 准教授。

第6回 11月24日(土) 10:40～12:10

定員40名

## 少女・教養・たしなみ —女学生文化の諸相と戦後への継承—

講師●初等教育学科 専任講師 歌川 光一

「NHK朝の連続テレビ小説」等女性をヒロインとするメディア作品の中で明治～昭和期の旧制高等女学校や女学生の様子を目にしたことはないでしょうか。そこで描かれるように彼女たちは良妻賢母主義的な教育や和洋の稽古事に励むエリートでした。と同時に、少女雑誌等を通じて「かわいい」に代表される青少年期特有の文化を育みました。これらの女学生文化の発生や展開、それに対する社会のまなざしを追い、戦後の女子像や少女向けコンテンツ文化へどのように継承されているのか、という視点から近現代史への理解を深めたいと思います。

講師プロフィール うたがわ こういち

1985年埼玉県生まれ。女子のたしなみをめぐる教育文化史研究で2016年に博士号(教育学、東京大学)を取得。主著に齊藤利彦編著『学校文化の史的探究』(2015年、東京大学出版会)、宮入恭平編著『発表会文化論』(2015年、青弓社)、玉川裕子編著『クラシック音楽と女性たち』(2015年、青弓社)等がある。



昭和女子大学の前身、「日本女子高等学院」時代の女学生

第7回 12月1日(土) 10:40～12:10

定員50名

## 結局、私たちは何を食べれば健康でいられるのでしょうか？

講師●健康デザイン学科 准教授 渡辺 睦行

近年、栄養学の常識がめまぐるしく変化しています。世の中は食べ物と健康に関わる沢山の情報に溢れています。糖質を減らしたら良いのでしょうか？脂質は身体に悪いのでしょうか？ベジタリアンは病気になりにくいのでしょうか？結局、私たちは何を食べれば健康でいられるのでしょうか？この講座では、最新の研究成果をもとに、皆さんと健康であり続けるための食事について考えたいと思います。



講師プロフィール わたなべ なかみち

静岡県浜松市出身、東北大学大学院農学研究科にて学位取得、2003年から昭和女子大学に勤務、現在、生活科学部健康デザイン学科准教授、専門は栄養生化学と食品機能学。

第8回 12月8日(土) 10:40～12:10

定員50名

## 近代作家の見た泉鏡花

講師●日本語日本文学科 教授 吉田 昌志

泉鏡花は、金沢から上京後、尾崎紅葉の門下となり、日清戦争後に新進作家として登場し、明治三十年代に文壇の最前線に立って以来、「天才」の名をほしいままにして、多くの読者を魅了しながら、近代日本の浪漫主義の大道を開きました。この独創無比の個性を、同業の作家たちはどのように見て、いかなる反応を示したのか。同時代の森鷗外と夏目漱石を取り上げ、かれらの「まなざし」から鏡花の文学を照らし出してみようと思います。

講師プロフィール よしだ まさし

専攻は日本近代文学。泉鏡花を中心とする浪漫主義文学の研究を進め、近年は鏡花の「年譜」研究に力を注いでおり、また鏡花の本の装丁や挿絵画家との関係など、造形美術にも深い関心をもっている。従来論文をまとめた『泉鏡花素描』(和泉書院、2016年刊)で、第25回「やまなし文学賞」(研究・評論部門)を受賞。



●受講料：無料 ●会場：昭和女子大学内教室(当日守衛室でご案内します)

●申込先：昭和女子大学昭リエゾンセンター ●申込開始：9月19日から

※受講の可否についてこちらから連絡させていただきます。申込後1週間を過ぎても連絡がない場合は、恐れ入りますが再度お問い合わせください。

●申込方法：E-mail またはホームページから ①受講希望日 ②氏名 ③連絡先 ④性別 ⑤年代をお知らせください。

E-mail ▶ [openseminar@swu.ac.jp](mailto:openseminar@swu.ac.jp) HP ▶ [http://univ.swu.ac.jp/community\\_relations/](http://univ.swu.ac.jp/community_relations/)

